



志木中だより

8月号 平成30年8月29日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048 (471) 0143 FAX 048 (474) 6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『 学びの上塗り 』

成長の学期に

二学期は行事が多くある学期ですが、学習でも力が入る季節にもなってきます。体育祭や文化祭、合唱祭等は生徒たちのみならず、学校の教職員、保護者の皆様にとっても大きな行事であり、思い出に残る行事となります。生徒たちは、これらの行事を通してきっと大きく成長していくと思います。

生徒たちの大きな成長と活躍を願って、教職員一同熱い気持ちを持って指導にあたっていきたいと思います。

1 学びの秋に (学びの上塗り・・・)

例年になく猛暑続きの夏休みでしたが、学校行事や部活動が大きな存在となる二学期をいよいよ迎えます。これから秋らしく過ごし安くなってくる分、学びの秋ともなっていきます。家庭学習も取り組み易い時期になってきますし、ぜひ、この二学期を「実り多き、学びの秋」にもしてもらいたいと思います。確かな学力を身につけるには、繰り返しの学習必要であるとよく言われます。私も学生の頃、何冊もの問題集に手を出すより、1冊の問題集を繰り返しやった方が力になると指導されたのを思い出します。何度も学びの上塗りをすることが大事だということです。さて、その上塗りをする時間をどう作っているでしょうか。

おもしろい資料があったので紹介させていただきます。これは、2003年、都内で義務教育初の民間人校長(杉並区立和田中学校)に就任した藤原先生からの「保護者への五つのお願い」からの抜粋です。

(中略)

テレビをつけっぱなしで見せている家庭の子の学力は保証しません。テレビは1日1時間強まで、番組を選んで見せてください。これで1年間のテレビの視聴時間が約400時間となり、英国数理社5教

科の年間総時間数と並びます。2時間以上つけっぱなしで見せていると年間800時間以上となり、考える力に著しいダメージを与えます。テレビを1時間に抑え、その代わり自宅学習を1時間15分以上させれば、自宅での勉強が400時間上積み増され、確実に学習したことが定着するでしょう。

随分、昔のことですので、今の状況とは若干異なる要素も多分にあります。子供たちはテレビに割く時間よりもスマートフォンやゲームに割く時間が結構多いのではないのでしょうか。また、個人差・学年差があり一日に必要な学習時間量は一概に決めることはできません。いずれにせよ、学びの上塗りをする時間が確保されているかが問題となるのです。

さて、志木中での学力向上は、どうなっているのか？ということになりますが、本校では授業改善に取り組み、特に授業を振り返らせ、授業で何がわかり、何がわからなかったのかを明確にすることによって、家庭学習へつなげることや、前時の確認を毎時間行い、單元ごとに各教科で工夫します。これもまた学びの上塗りをねらいとしています。学校・家庭における繰り返し学習が生徒の大きな力になることを期待しているところです。

いずれにせよ2学期のスタートです。一人一人が自分の目標実現に向けて、意欲を持って取り組む姿に期待しています。